

神戸大学山岳会

井上達男様

猛暑のせい今秋は紅葉が遅く、近郊の紅葉名所も見ごろは11月の末にずれこむようです。日頃にご無沙汰ばかりしておりますが、お変わりなくご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。当方は、2008年元旦、急性大動脈（胸部・腹部）解離という、まったく予期せざる病に襲われましたが、何とか体力を回復し、ゆっくりと里山歩きを楽しんでおります。

10年ほど前に出版しました本、『キリスト教経営思想—近代経営体制とドイツ・カトリシズム』（森山書店、1999年）が、在庫を処分するというので、120部ほど小生の手もとに戻ってまいりました。苦勞してまとめた著作はわが子のようなもので、とてもおのれの手で廃棄・焼却するに忍びず、勝手ながら友人・知人の皆さまにお送りすることにしました。ご笑覧のうえ適当にご処分くださいますれば、小生大いに幸いとすところでございます。

この研究によって、2001年、母校の神戸大学より学位（博士、経営学）を戴きました。経営学博士の第1号が平井泰太郎先生で、小生は第88号でした。当方すでに還暦を過ぎておりましたが、恩師、市原季一先生の学恩になんとか報いることができました。

山口大学を退職後、広島経済大学に勤務しておりますが、この10年ばかりの研究をまとめ、今年の3月に下記のような著作を出版させていただきました。ドイツの経営パートナーシャフトとはいったい何だろうか、と興味をもっていただければ幸いです。とはいえ、そのような専門書はまたまた在庫の山になることは火を見るより明らかである、「在庫山」が雪崩を起こして遭難するは必定、これはなんとか救助に向かわねばと、急ぎ駆けつけてくださることをお待ち申し上げている次第です。

来年3月をもって退職を予定しております。4月からは自由になる、思いっきり遊ぼう、あれもしたいこれもしたい、あそこに行きたいこっちにも行きたい、まるで夏休み前の子供のように、そんなことばかり考えております。

初冬の季節に入り朝夕の冷え込みが厳しくなっております。ご健康に十分ご留意のうえますますご活躍されますようお祈り申し上げます。

2010年11月10日

神戸大学山岳会（11回生） 増田正勝

増田正勝『ドイツ経営パートナーシャフト史』（森山書店 2010年3月 4,500円）

- 第1章 パウル・シュピンドラー・ヴェルク社の経営パートナーシャフト
- 第2章 ゼドゥス・シュトル社の経営パートナーシャフト
- 第3章 ピエロト社の経営パートナーシャフト
- 第4章 グリューンベック社の経営パートナーシャフト
- 第5章 ベルテルスマン社の経営パートナーシャフト
- 第6章 ドゥレーガーヴェルク社の経営パートナーシャフト
- 第7章 労働者財産形成政策と経営パートナーシャフト
- 第8章 労働組合と経営パートナーシャフト
- 第9章 「パートナーシャフト協会」（AGP）の創設とその活動
- 第10章 フィッシャー経営学と経営パートナーシャフト
- 第11章 ガウグラー経営学と経営パートナーシャフト

（特価：4,500円→3,600円 著者割引/送料、著者負担/消費税、出版社負担）